「あいさつ」実践例より

|  |  |
| --- | --- |
| **具体的目標の実施計画表** | |
| 1　教える行動を決めましょう | |
| 学年がちがっても朝や帰りのあいさつを大きな声で言おう。 | |
| 2　児童に伝える：「この行動を学ぶ理由」を考えましょう | |
| ・あいさつは人と人をつなぐために，大切であるから。  ・下学年　あいさつをするとお互いに気持ちよくすごせ，色々な人と仲よくなれる魔法の言葉だから。  ・上学年　あいさつをすることが，良い人間関係を築くきっかけとなる近道だから。 | |
| 3 具体的な行動モデルを示しましょう | |
| 良い例 | 悪い例 |
| ・自分から，先に「おはようございます」と，相手に届く声で言う。  ・笑顔で  ・相手の顔を見て  ・会釈をする | ・不必要に大きな声であいさつをする。  ・相手に聞こえない声であいさつをする。  ・あいさつをされても，あいさつをしなかったり，下をむいたりする（横をむく）。  ＊悪い例は，児童が演じずに教師が演じる。 |
| 4 実際に練習するための具体的な計画を立てましょう | |
| 例えば全校朝会の場面を利用し，○○委員会の児童が，よいあいさつをすることをよびかける。  （1）あいさつの説明とロールプレイを行う。悪い例を教師がロールプレイし，悪いと思うところを言語化する。  （2）どうすればよいかを，全児童に考えさせる。  （3）よいあいさつの例を児童がロールプレイする。  （4） ○○委員会の児童が，全児童にあいさつをするようによびかける。  （5）自分からあいさつをしてくれる児童の数をカウントすることを伝える。 | |
| 5 期待される行動の手がかりを作成しましょう | |
| ・○○委員会の児童は，あいさつ運動の時にたすき等を身につける。  ・毎月，第4週の1週間は自分からあいさつした児童をカウントし，全校朝会の時に発表する。  ・児童の目につく掲示板に，あいさつの結果をグラフで掲示する。  ・学校が使用しているふれあいメール等で，あいさつについてのアンケートをとる。 | |
| 6 児童が自ら取り組む行動について計画しましょう | |
| ・朝10人以上にあいさつをしようと呼びかける。  ・名前をつけて，「○○さん，おはようございます」とあいさつをする。 | |
| 7 児童の行動変容を記録する方法を計画しましょう | |
| ・○○委員会の児童は，朝の登校時間帯に校門に立ち，自分からあいさつをしてくれる児童と，あいさつをしたらあいさつを返せた児童と，あいさつをしなかった児童の数をカウントする。  ・毎月第４週の1週間は，自分からあいさつをした子をカウントし，全校朝会の時に発表する。 | |
| 8 望ましい行動に対する「ほめ方」を計画しましょう | |
| ・校長先生に全校朝会等でほめてもらう。  ・○○委員会のあいさつ運動について，教室や廊下に掲示をする。  「めざせ　あいさつ　１００％」  ・学校が使用しているふれあいメール等に（学期のはじめとおわりぐらい），○○委員会のあいさつ運動の結果を保護者にお知らせする。 | |